

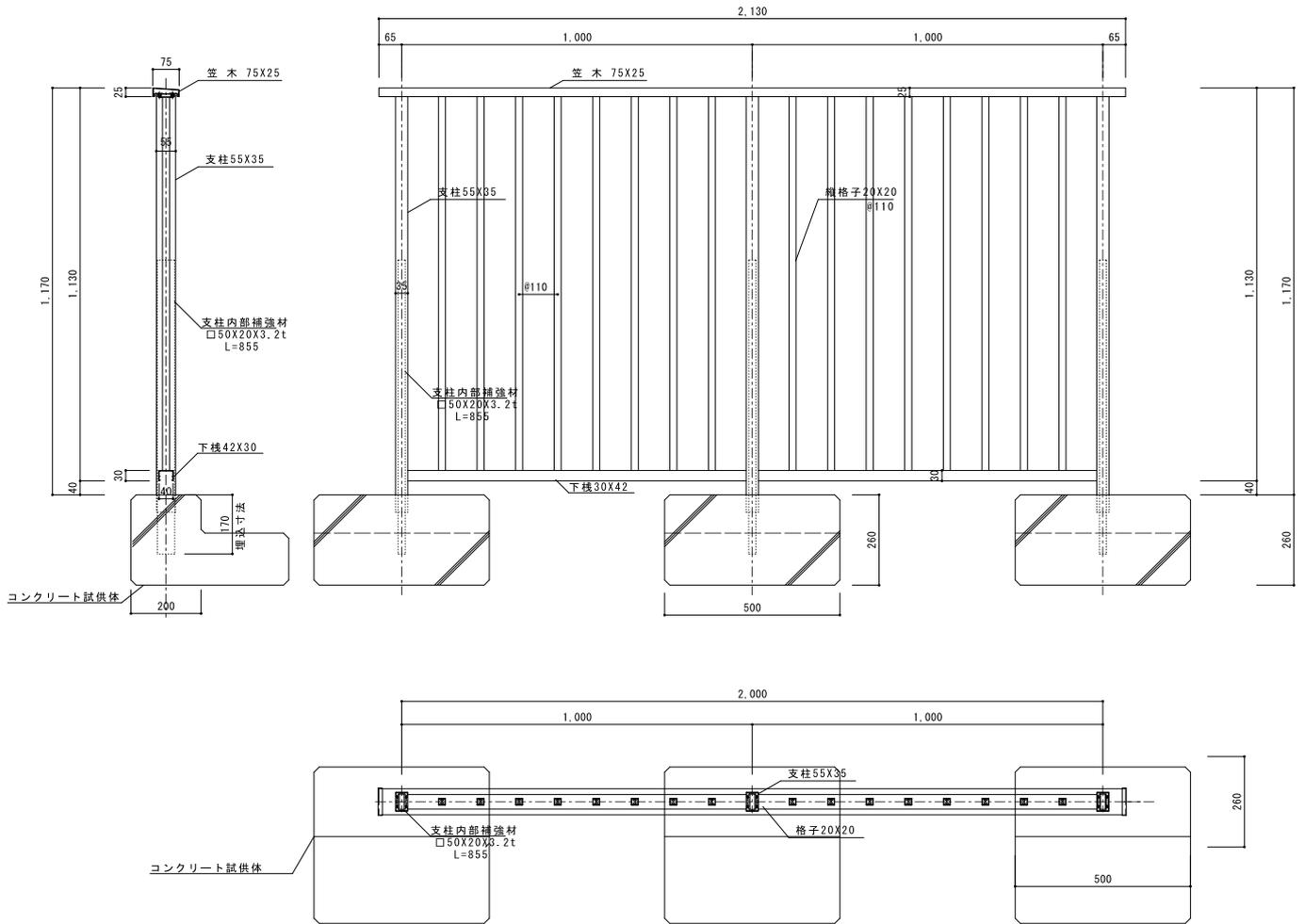
# 品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験  
西日本試験所長 白  
山口県山陽小野田市



試験名称	アルミ手摺の水平荷重試験				
依頼者	名称：有限会社加藤金属 所在地：大阪府八尾市太田1丁目5番地				
試験体	商品名：アルミ手摺 KT-3 格子タイプ 材質：アルミニウム合金 数量：1体 備考： <ul style="list-style-type: none"><li>基礎コンクリートの呼び強度；Fc24</li><li>図1（試験体）</li><li>記載事項は依頼者の提出資料による。</li></ul>				
試験方法	準拠規格：優良住宅部品性能試験方法書 墜落防止手すり BLT SR：2024② (一般財団法人ベターリビング)				
	試験番号		試験方法名称		種別レベル
	BLT SR-05		ユニットの水平荷重試験 (1) (床支持)		手すりユニット床支持方式 B.300型
	加力装置：200kN自動コントロール式アクチュエータ 測定装置：ロードセル（容量；50kN），電気式変位計（容量；500mm及び50mm） [備考] 写真1（試験実施状況）				
試験結果	295 (N/m) 時のたわみ <sup>1)</sup>		2950 (N/m) 時 試験体の状況	最大載荷荷重時 <sup>2)</sup>	
	支柱 (mm)	笠木 (mm)		荷重 P/2L (N/m)	試験体の状況
	δ1	δ2	δ3	4280	・支柱のたわみ及び変形 ・笠木のたわみ及び変形 ・基礎コンクリートの割れ
	5.8	0.1	0.2		
	[備考] ・表1（繰返し荷重及び各荷重時における各部のたわみ） ・図2（荷重-たわみ曲線） ・写真2～写真7（試験体の状況）				
注 <sup>1)</sup> たわみδ1～δ3は、下式で算出した。 支柱のたわみ：δ1=DG3-DG8- { (DG6-DG7) /300×1170} 笠木のたわみ：δ2=DG2- (DG1+DG3) /2, δ3=DG4- (DG3+DG5) /2 注 <sup>2)</sup> 試験は、依頼者と協議のうえ、最大載荷荷重（4280N/m）までとした。					
試験日	2024年12月12日				
担当者	試験課長 矢埜和彦 小椋智高（主担当） 早崎洋一 小森谷誠 品末竹彦				
試験場所	西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川）				



(依頼者提出資料)

図1 試験体

単位mm

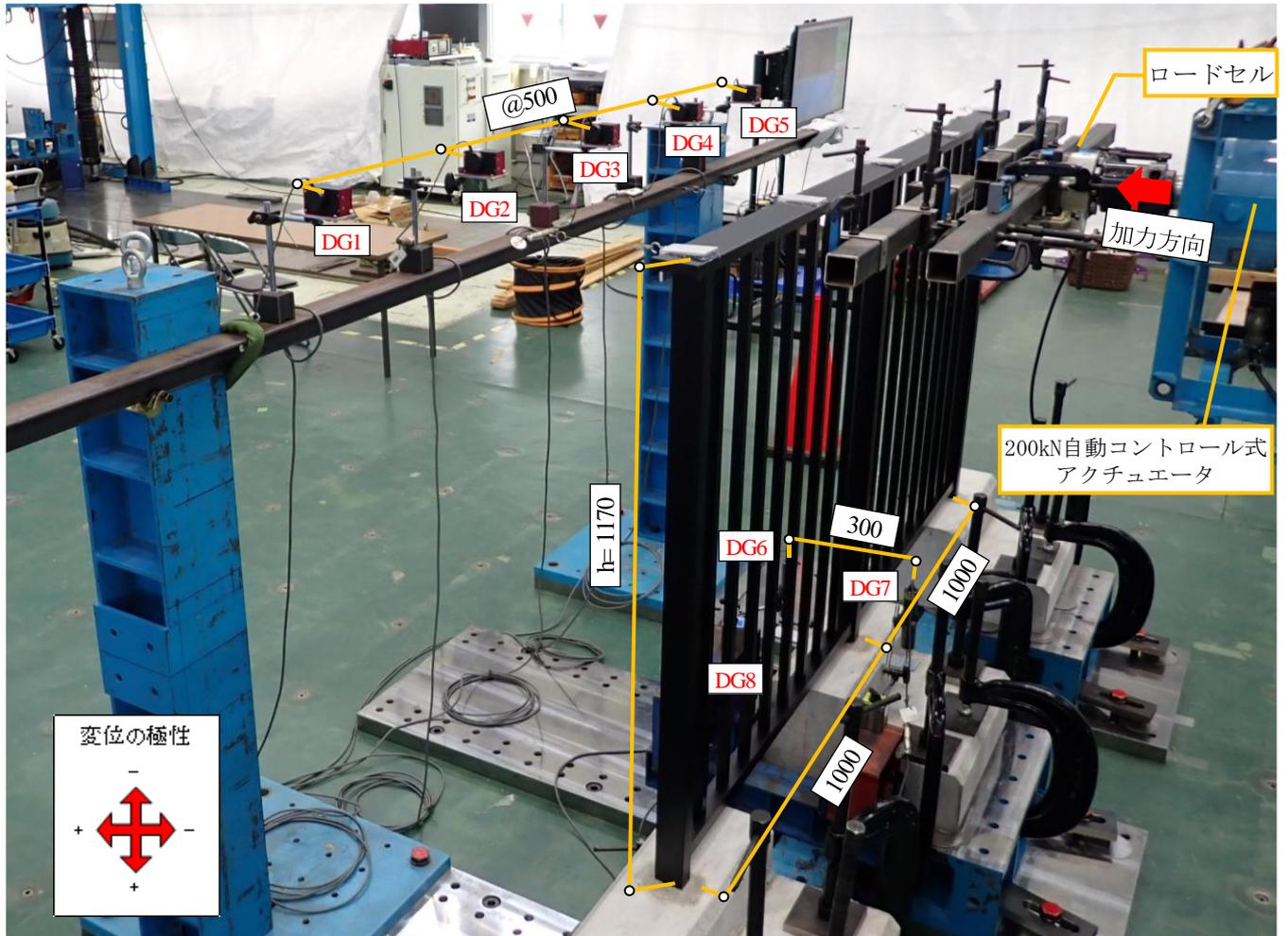


写真1 試験実施状況

表1 繰返し荷重及び各荷重時における各部のたわみ

荷重 P/2L (N/m)	繰返し回数 (回)	支柱のたわみ (mm)	笠木のたわみ (mm)		
		δ1	δ2	δ3	
98	—	1.8	0.0	0.0	
295	—	5.8	0.1	0.2	
目標 荷重 1300	1305	1	25.2	0.9	1.2
	1300	2	25.3	0.9	1.2
	1305	3	25.3	1.0	1.2
	1305	4	25.3	1.0	1.2
	1305	5	25.4	1.0	1.3
2950	—	62.8	2.8	3.3	
4280	—	111.7	4.8	5.4	

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

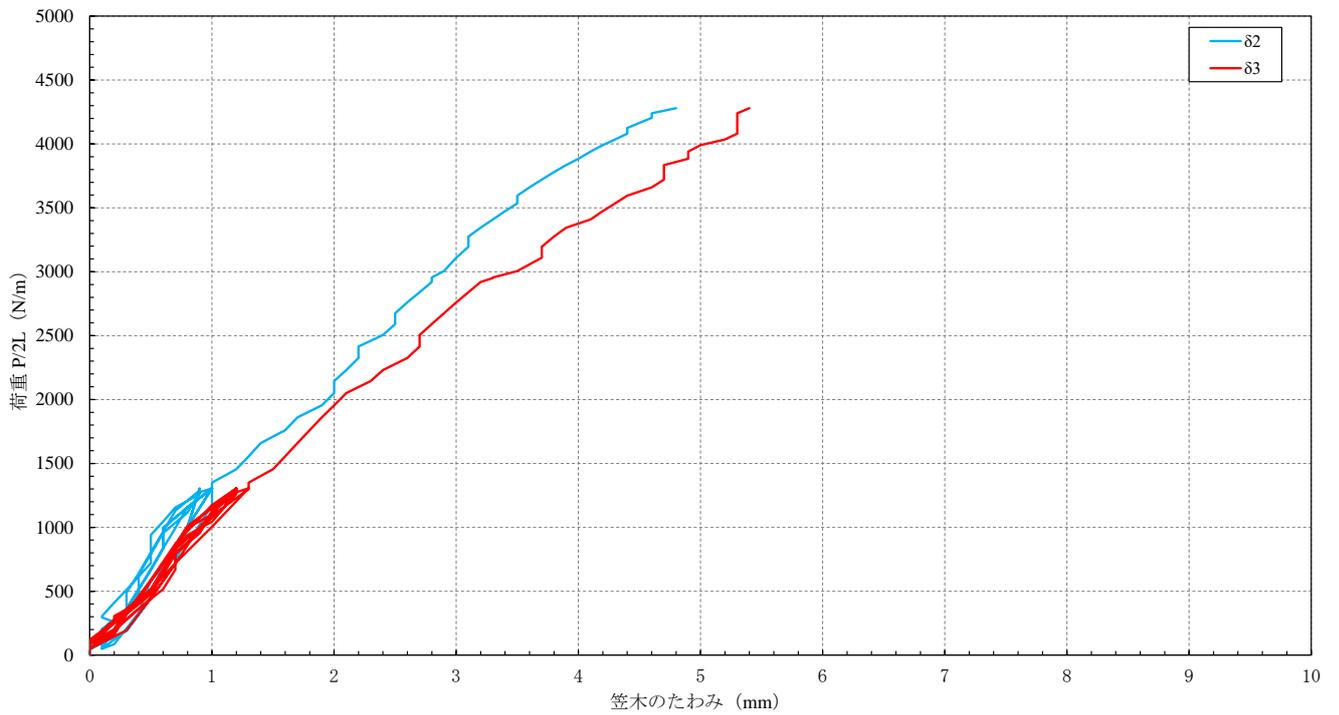
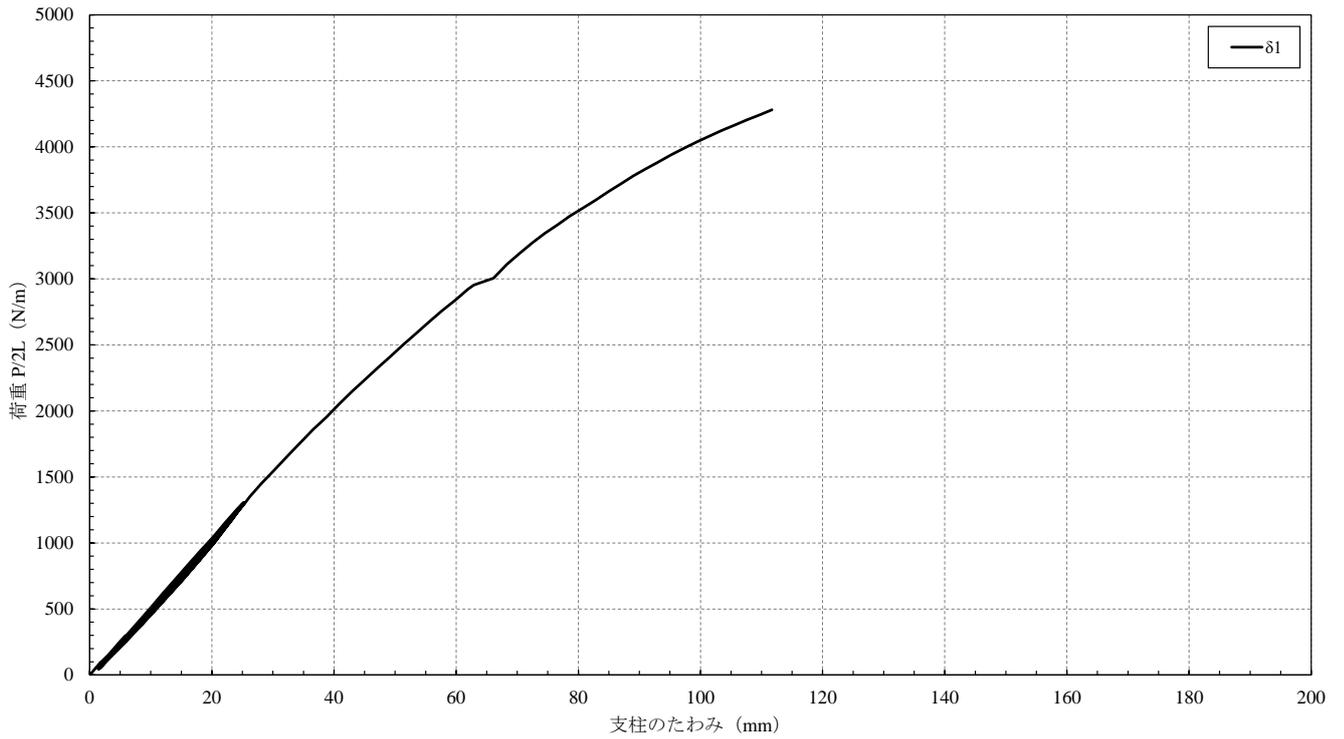


図2 荷重－たわみ曲線

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

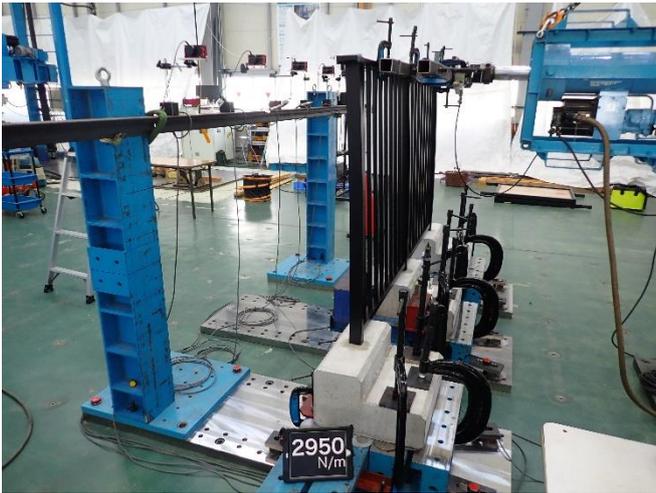


写真2 試験体の状況  
2950 (N/m) 時



写真3 試験体の状況  
2950 (N/m) 時

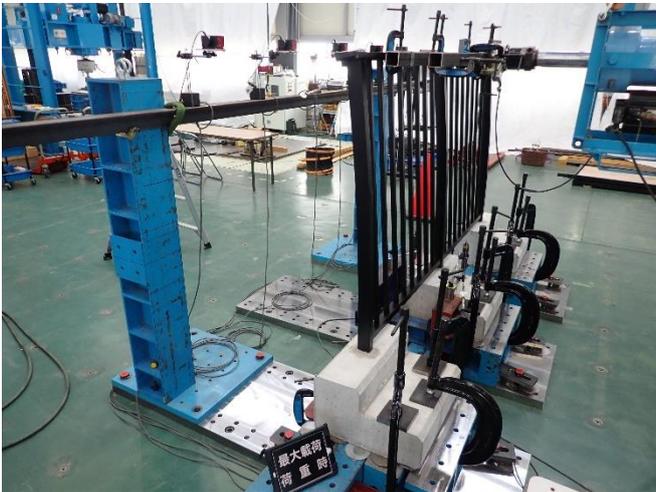


写真4 試験体の状況  
最大載荷荷重時

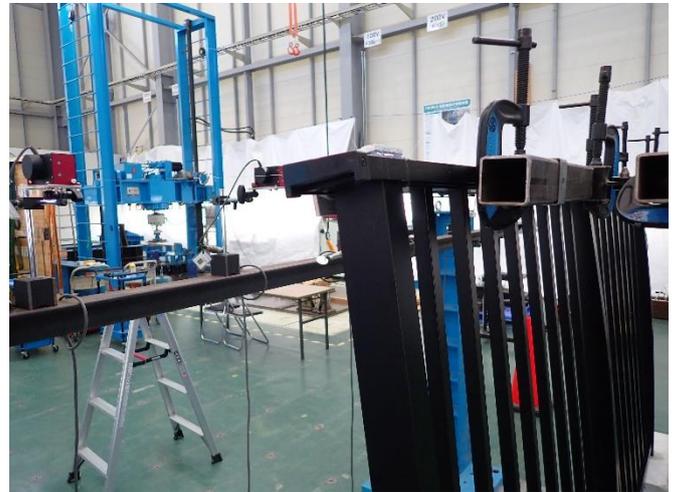


写真5 試験体の状況  
最大載荷荷重時



写真6 試験体の状況  
最大載荷荷重時



写真7 試験体の状況  
最大載荷荷重時

以上

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。